

説いてゐる。これは第二冊本論の補遺ともなるのであるが、松村博士は我が神話の發展した形態に於けるイザナミの命を觀、戸塚氏は神話の原型を民俗學的に把握せんとする故に、イザナミの命も低い神となるのではないか。この事は第二冊の本論に就いても言ひ得るのである。戸塚氏の精緻眞摯なる研究には敬服するが、國土生成説話の研究と、その原型の研究とは區別されねばならぬ。氏はこの説話の本質を研究すると巻頭に叙べてゐるが、實は寧ろこの説話の起源又は成立或は發生の研究であつて、説話のあらゆる問題の研究ではない。故に松村氏のやうな研究（たゞひ多少の難點はありとしても）存在價値を完全に持つてゐると思ふ。（代書寫）

京城帝國大學法文學會第二部論纂

「哲學論集」第二輯

京城帝國大學法文學會第二部は哲學・史學・文學に關する諸問題を研究する機關である。一昨年は朝鮮支那の文化に關した論文集を出し、昨年は西洋哲學を對象とする研究を一括して公刊した。全冊七百數十頁の大冊であり、その中には長篇論文が少くない。その目次は次の通りである。（刀江書院刊）

- 實踐的目的概念 島本愛之助
- 朝鮮の婚姻形態 秋葉隆
- 「勘」の辨 黒田亮
- ランケの世界史に於ける史的發展 金子光介

- 宗教現象學の對象に就いて 赤松智城
- 初期人文主義教育思想に見えたる 田花爲雄
- クインテリアアヌスの影響 福富一郎
- 特殊運動感覺の否定 連水
- ディルタイの心理學に於ける構造の概念 宮本和吉
- 現實意識に就いて 松月秀雄
- 教育の本質 安倍能成
- カントの根本惡説 (以上高橋紹介)

寄贈圖書

- 信仰と理性 コリンウッド著 定價貳拾五錢
林靜 太譯 警醒社 發行
- 美學研究 第四輯 東京帝國大學美學談話會編
定價壹圓
- 藝術學研究 第四輯 外山卯三郎編 定價貳圓
土田 杏村著 定價壹圓
- 人生論 以上第一書房發行
- 存在の現象形態 山内得立著 定價金貳圓五拾錢
岩波書店發行

寄贈雜誌新聞

哲學雜誌 昭和五年十二月

五二六號

倫理研究 同十二月

十一號

丁酉倫理會講演集 同十二月

三三八號

學校教育 同十二月

二一〇號

眞宗研究 同十一月

三九號

信濃教育 同十二月

五三〇號

願 同十二月

九年十二月

生理學研究 同十二月

七卷臨時號

帝國大學新聞 昭和五年十一月二十四日、十二月八日

彙報

京都哲學會講演會

豫告の如く、去る昭和五年十一月二十九日土曜午後一時半より
京都帝國大學文學部第九教室に於て左の講演會を催した。

一 法華經に於ける淨土の問題

京都帝國大學文學部講師 本田 義英氏

二 形而上學的時間

京都帝國大學文學部講師 九鬼 周造氏

新刊紹介

當日は寒さが餘り烈しくなく、天氣も良かつた、來聽者約五百人、東は横濱、北は新潟、西は廣島、松山より特に此の會の爲に出席された人々もあつた。盛會の裡に五時講演會を終る。引續き、來會者の有志三十余名が二講師を中心に教官食堂にて晚餐會を催し、歡談を共にした。

心理學讀書會

去る昭和五年十一月十四日金曜左の發表を心理學教室にて午後三時半より行ふ。

内臟感覺について

石 川君

同五年十二月五日金曜同所に於て午後三時半より左の發表あり

人類の感覺的感情

山名 遼君

美學會

去る十二月九日(火曜)樂友會館にて
人形劇について

辻部政太郎君

美學讀書會

去る十一月二十五日樂友會館にて

Sandro Botticelli

堀瀬 尙夫君

去る十二月十六日(火曜)樂友會館にて

東トルキスタンの壁畫

上野 照夫君